

| 事業の名称  | 質問   | 担当課                              | 回答   |
|--|--|----------------------------------|--|
| <p>【No.1】<br/>イーストとくしまDMO<br/>ニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現<br/>(徳島東部地域の市町村との共同計画)</p> | <p>1 徳島県における宿泊者数の低迷が続いているなかで、宿泊者数増加につながる取組があれば教えていただきたい。また、その中でも、国内・国外別に取組の違いなどあれば教えていただきたい。</p> | <p>にぎわい交流課</p>                   | <p>・ SNSを活用した徳島東部の魅力を情報発信するWEBプロモーションに注力し、インスタのフォロワー数は令和4年の1,400から令和5年には14,600に増加しています。特に多言語対応のため、キャプションの日本語/英語の併記で英語圏のユーザーへの訴求を図り、フォロワーの半数が英語圏となっています。<br/>・ 国内対応では、地域一体となった観光DXを推進し、ストレスフリーな旅の提供と得られたデータをマーケティングに活かす取組を進めています。</p>   |
|  | <p>2 来年の大阪・関西万博開催を見据えた、観光振興についての具体的対策は計画・実行できているのでしょうか。</p>                                      | <p>にぎわい交流課</p>                   | <p>・ 万博開催を見据え、国の補助金を活用して、エリア内の宿泊・観光施設の高付加価値を進めています。<br/>・ 関西方面での集中的なプロモーション事業を予定しており、万博をフックとした誘客を推進します。</p>  |
|  | <p>3 令和4年度～5年度にかけての中四国の県庁所在都市の宿泊客数の増減率と比較して貰えないでしょうか。</p>  | <p>にぎわい交流課</p>                   | <p>県庁所在都市単位の宿泊客数は、数字として把握していません。県単位では、令和4年比で徳島県が26.9%の増、香川県が34.8%の増、愛媛県が24.8%の増、高知県が46.3%の増となっています。</p>  |
|  | <p>4 「シビックプライドの醸成」とは具体的に何をすることを表現しているのでしょうか。</p>   | <p>にぎわい交流課</p>                   | <p>地域住民がまちの魅力を自分の言葉で自信を持って語れるよう、地域の魅力を再発見するような取組を実施することで、愛着と誇りを醸成し、県外流出の減少に繋げていきます。</p>  |
| <p>【No.2】<br/>「しごと」を担い、まちを元気にする「地域活性化人材」創出事業</p>   | <p>1 移住体験ツアーやふるさとワーキングホリデーへの参加が、実際に移住を決めた理由へどのような影響があったのか教えていただきたい。</p>                          | <p>企画政策課</p>                     | <p>移住フェア来場者や移住サイト閲覧者など、既に移住に関心が高い方にとって、一泊二日で暮らしを体験する「移住体験ツアー」や、一週間就労や生活を体験する「ふるさとワーキングホリデー」という実際に現地を訪れる機会があることで、徳島市を移住先の一つとして考えてもらうきっかけとなっています。<br/>また、徳島市への移住を検討している方にとっては、実際に訪れることで具体的な生活を想像し、不安感を失くすことで、最後の後押しとなっています。</p>  |
|  | <p>2 関係人口の定義、算出方法を教えていただきたい。</p>   | <p>企画政策課</p>                     | <p>関係人口とは「定住人口」でも観光等で訪れた「交流人口」でもない、地域と継続的に多様な形で関わる人々を指しており、徳島市においては「ふるさとサポーター連」「阿波おどり公式アンバサダー」「移住センターLINE」の登録者等が該当します。<br/>一方、KPI「本事業を通じた関係人口」については、本事業で創出された関係人口として、「ふるさとワーキングホリデー」の参加者と定義して算出しています。</p>  |
|  | <p>3 各KPIの目標値の設定根拠をより詳細に教えていただきたい。</p>   | <p>経済政策課<br/>企画政策課<br/>市民協働課</p> | <p>○徳島市内における新規就業・創業数<br/>→計画策定時、支援した就業者数及び創業促進事業補助金交付者数の実績を基に設定しました。<br/>○徳島市への移住者数及び徳島市の関係人口<br/>→「本事業を通じた、移住者数及び関係人口数」については、移住センターを通じた移住者数及び「ふるさとワーキングホリデー」の参加者数であり、「ふるさとワーキングホリデー」は就労先となる受入事業所との調整や、受け入れている期間の暮らしに関して事務局のサポート等が必要であるため、令和4年度を15名とし、以後年間5名の増を目標としました。<br/>○新たな事業やコミュニティビジネスを実施した数<br/>→個々の人材の実践力を養う取組や多様な人材の活躍を促す取組等での成果を測る指標として最適なアウトカムベースの指標だと考えています。初年度の設定根拠については、事業提案を行い具体的に実践に移す人数と考え、1グループ3人程度と設定しました。次年度以降は、事業提案を翌年度以降実施する人材の数に加え、これらの取組に興味を持ち参画する人材の数を想定しています。</p> |

| 事業の名称  | 質問   | 担当課     | 回答   |
|--|--|---------|--|
| 【No.3】<br>伝統文化と公民連携で推進！SDGs未来都市とくしま実現事業              | 1 阿波おどりの出前講座は継続して受講する形なのか教えていただきたい(例：4, 5, 6学年と3年間受講するなど)。             | にぎわい交流課 | 毎年市内の小中学校に希望を募り、出前講座を希望する各学校が指定する学年に座学1回と実技2回を教えに行っています。(市内の小学校では、6年生が運動会で阿波おどりを踊る学校が多くその準備として活用している学校が多い。)  |
| 【No.4】<br>2つのX(GX・DX)とイノベーション創出による徳島経済飛躍事業(県との共同計画)  | 1 販路拡大に効果があった具体例(取り組み例、売り上げ)を数例示していただけないでしょうか。                         | 経済政策課   | ①首都圏での大規模な展示会に出展を行い、新規見込客を獲得、売上が30%以上増加<br>②新製品の開発を行い、HPに公開。受注が増え、売上が30%以上増加<br>③既存製品をより付加価値の高いデザインパッケージに改良。贈答用の受注が増え、50%以上増加  |
|  | 2 具体的には、どのような支援を行い、効果はどうだったのでしょうか。                                     | 経済政策課   | 新たな販路開拓、販路拡大に取組む事業者に対して、経費の一部を補助しました。結果、売上増加、新たな有名企業との受注獲得、海外現地見込客からの複数の問い合わせ、海外戦略への営業方針の決定等の効果がありました。   |
| 【No.5】<br>3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム(県等との共同計画)     | 1 閲覧者の属性(居住地、年齢等)や人気のあったコンテンツ等について情報はありますか。ない場合には、今後、情報収集される計画はありますか。  | にぎわい交流課 | イーストとくしまのHPでは、ユーザー数は日本が大多数を占め、次に米国、カナダの英語圏となっている。国内では徳島市と大阪市がほぼ同数、次に広島市、高松市、神戸市、福岡市と続いています。年齢層は30代、次に20代と若い層が比較的多くなっています。よく閲覧されるコンテンツは繁華街と酒場の特集記事や自然観光スポットを紹介する記事となっています。  |
|  | 2 県はホテルを誘致するとしているが、徳島市はホテルの誘致に関し、どのような活動をしているのでしょうか。また、県との連携はあるのでしょうか。 | にぎわい交流課 | イーストとくしまでは、ホテル誘致に直接的に関与するのではなく、地域の事業者と連携し、国の補助金を活用して、エリア内の宿泊・観光施設の再生・高付加価値化を進めています。また、来訪者の滞在期間を伸ばし、宿泊者の増とナイトタイムエコノミーの活性化に繋げ、経済を循環させることで、ホテルの新規進出の一助を担っています。  |
| 【No.6】<br>「グリーン社会とくしま」の実現による持続可能な地域づくり推進事業(県等との共同計画) | 1 徳島市として、カーボンニュートラル実現に向けての宣言等はあれば教えていただきたい。                            | 企画政策課   | 令和5年12月、SDGs未来都市として、2050年までに市域から排出される温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。また、令和6年3月には、ゼロカーボンシティの実現に向け、民間企業と協定を締結しています。<br><a href="https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/kurashi/kankyoeisei/chikyuuoudanka/Zerocarboncity.html">https://www.city.tokushima.tokushima.jp/smph/kurashi/kankyoeisei/chikyuuoudanka/Zerocarboncity.html</a> |
|  | 2 KPIの指標である「市民のSDGs認知度」はどのような調査(質問)によって測定しているか、教えていただきたい。              | 企画政策課   | 無作為抽出した市内在住の18歳～80歳の市民を対象に毎年実施している市民満足度調査(令和6年1月調査 回答数885人)において、下記の間に対しア～ウを選択した人の割合により認知度を算出しています。<br>【問】SDGsという言葉やその内容、取組についてどの程度ご存じですか。<br>ア. すでに取組を行っている<br>イ. 何らかの取組について検討している<br>ウ. 内容について知っているが、特に取組は検討していない<br>エ. 言葉をきいたことがあるが、内容は詳しく知らない<br>オ. 全く知らない(今回の調査ではじめて知った)   |
|  | 3 認知度評価の方法(例えばアンケート)を示していただけないでしょうか。                                   | 企画政策課   | 同上   |

| 事業の名称   | 質問   | 担当課                     | 回答  |
|---|--|-------------------------|---|
| 【No.7】<br>社会・経済状況の変化に<br>適応する「とくしま農林<br>水産業」生産力強化戦略<br>(県等との共同計画) | 1 実際にどのような商品（12品）が開発されたのか具体例を教えてください。                  | 農林水産課                   | 1. 藍を使ったサラダ 2. 藍を使った炒め物 3. 藍を使ったからあげ<br>4. 藍を使ったスープ 5. 藍を使ったおにぎり<br>6. なんと金時チップス おさっち。プレーン味<br>7. なんと金時チップス おさっち。塩味 8. さつまいものフライドポテト<br>9. めがみ米グラノーラ 10. きくらげの三杯酢 11. 野菜パウダー<br>12. いちごスムージーの素            |
|   | 2 具体事例を数例示していただけないでしょうか。                               | 農林水産課                   | 同上  |
|   | 3 KPIの目標値の設定根拠をより詳細に教えてください。                           | 農林水産課                   | 対象事業の予算で開発する商品数の目標を1年間で1つとし、その累計をKPIの目標値としました。  |
|   | 4 具体的には、どのような商品開発ができたのでしょうか。またその販路や売れ行きはどのようなもののでしょうか。 | 農林水産課                   | ○いちごスムージーの素<br>とくしまマルシェにていちごスムージーの販売をし、完売。今後はアメリカ輸出商談会と機内食商談会に参加予定。阿波おどりや地元スポーツチームの試合などのイベント会場にて出展も決定しています。<br>○なんと金時チップスおさっち。<br>徳島県内の量販店、関西圏、中部圏、関東圏の量販店で販売。また香港、台湾、マレーシア、シンガポールへ輸出。大手通販サイトなどでも販売しています。 |
| 【No.8】<br>LINEによる行政サービス拡張事業                                       | 1 地震などの大規模災害発生時にもLINEによる情報提供は可能なのか教えてください。             | 広報広聴課<br>危機管理課<br>防災対策課 | LINE「防災メニュー」内の「緊急・重要情報ポータルページ（市公式HP）」へのリンクから最新の災害情報の確認が可能です。<br>また、プッシュ型のLINE通知により災害情報の発信を行います。   |
|   | 2 災害投稿の実装化について、どこまで議論が行われているのでしょうか。                    | 広報広聴課<br>危機管理課<br>防災対策課 | 投稿については、正誤の判断がつかないとの議論を受け、他のSNSの試験運用の結果を踏まえ、改めて検討することとしました。   |
|   | 3 市民からの災害情報投稿は実装を見送っているとのことだが、今後の展望はどのようにお考えでしょうか。     | 広報広聴課<br>危機管理課<br>防災対策課 | 他のSNSを活用した試験運用結果から、情報量や正誤判断の課題を踏まえ、実装の必要性は低いと判断しています。   |
| 【No.9】<br>スマート農業推進支援事業  | 1 スマート農業機器とは具体的にどのような機器でしょうか。                          | 農林水産課                   | ・アシストスーツ：装着型の作業支援機器で腰の負担を軽減<br>・水田水位センサー＋給水ゲート＋ソケットホースセット：ほ場の水位を携帯で確認し、遠隔操作で入水、止水が可能<br>・一輪車電動化キット：手持ちの一輪車を電動化し、運搬作業の負担を軽減  |